

セコムグループの物流拠点拡大

白石インター工業団地で地鎮祭

3月1日、防犯・防災関連機器を製造するセコム工業株式会社（古川^{ふるかわ}顕一^{けんいち}代表取締役社長）の新物流センター新築工事の地鎮祭が白石インター工業団地で行われ、約40人の関係者が出席しました。

新築する物流センターは、約1万6,800㎡の敷地に鉄骨平屋建て延べ床面積約7,000㎡。工事は11月に完了し12月中に稼働する予定です。

同社の古川社長は「白石インターチェンジに隣接する立地を生かし、グループの物流拠点としてさらなる生産性の向上と効率化を目指したい」と話していました。



▲新物流センターの完成予想図

卒園生が歌とダンスのプレゼント

第二幼稚園でお誕生会

2月23日、第二幼稚園で毎月恒例のお誕生会が開かれ園児全員で、2月生まれのお友達の誕生日を祝いました。

この日は、同園の卒園生で仙台市を中心にシンガーやアイドルとして活躍する姉妹ユニット【ゲシュタルト】の二人がスペシャルゲストとして来園。ふたりは「夢をかなえてドラえもん」などの歌や「ようかい体操第一」などのダンスを園児たちにプレゼントしました。

いつもとは違ったお誕生会に、園児たちは楽しそうに【ゲシュタルト】のふたりと歌ったり踊ったりと、楽しいひとときを過ごしていました。



▲園児たちと一緒に踊る【ゲシュタルト】のふたり

私たちの政治参加

東中学校3年生が政策提言

3月9日、「私たちの政治参加」政策提言が市役所で開催され、東中学校の3年生6人が風間市長や武田教育長などに、ふるさと白石をさらによくするためのアイデアなどを話しました。

この政策提言は、社会科授業の一環として白石市の政策や予算などを学習した総まとめとして行われたもの。

参加した生徒は「すごく緊張しましたが、市長さんたちと意見交換が出来てすごく勉強になりました。政治は難しいんだなとも感じました」と充実感のある笑顔で話してくれました。



▲風間市長や武田教育長と意見交換をする中学生たち

目指せ チャンピオン！

仙台89ersホームゲーム開催

2月27・28日の2日間、T K b j リーグの公式戦「仙台89ERS vs 新潟アルビレックスBB」がホワイトキューブで開催されました。本市でのT K b j リーグ公式戦が開催されるのは3年連続4回目。試合の結果は、初日が84-94、2日目が78-85と負けてしまいましたが、勝利を目指して懸命にプレーする89ERSの選手たちの姿は、来場者たちに感動と興奮を与えてくれました。また、試合の前には白石市の小学生・中学生のチームと、福島県伊達市の小学生・中学生の選抜チームによるエキシビジョンゲームも行われ、会場を盛り上げていました。



▲勝利を目指し、懸命なプレーを見せた選手たち

勇気ある行動が命を救う

人命救助活動協力者に感謝状

3月3日、白石消防署で人命救助に協力した功績をたたえ、鈴木久夫さん、村上洋二さん、大野稔さんの3人に佐藤節雄白石消防署長から感謝状が贈られました。

昨年の10月30日、3人はスポーツセンターでソフトテニスを楽しんでいたところ、コート隅で休んでいた男性が突然意識を失い倒れたのを目撃。互いに協力し合い心肺蘇生やAEDによる除細動を行い救急隊員が到着するまでの間、救命活動を行いました。佐藤署長は「3人が行った救命行為により、男性は後遺症もなく社会復帰できました」と勇気ある行動をたたえていました。



▲感謝状を受け取る村上さん

冷水と寒風でうま味凝縮

検断屋敷で寒ざらし蕎麦の試食会

3月17日、「寒ざらし蕎麦」の試食会が小原材木岩公園内にある検断屋敷で開催され関係者など34人が参加しました。この寒ざらし蕎麦は、大寒の日に白石スキー場付近の溪流の冷水に浸し、立春の日に引き上げられた蕎麦の実を寒風に当てて乾燥させ製粉して使用。寒ざらし蕎麦は、通常の蕎麦に比べ甘みが増すのが特徴と言われています。

試食した参加者は「甘みがあり香りも良かった。毎年食べているが、今年の出来は良いのではないか」と話してくれました。



▲寒ざらし蕎麦と普通の蕎麦を食べ比べる参加者たち

火の用心！

越河保育園幼年消防クラブが防火パレード

3月4日、越河保育園幼年消防クラブ員が越河地区内で防火パレードを行い、火の用心を呼び掛けました。この催しは、3月1～7日の春の火災予防週間に合わせて毎年実施。同園の3～5歳児19人が参加しました。この日は、越河保育園の佐藤由美子^{さとう ゆみこ}園長が1日越河消防団長に任命された後、越河町屋敷から越河小学校までの区間をパレード。その後は越河平地区と越河駅前地区とに分かれて防火を呼び掛けました。参加した園児は、拍子木を打ちながら、「火のよお～じん！」と地区内を巡回し、元気に防火を呼び掛けていました。



▲越河地区内をパレードし、元気に防火を呼び掛ける園児たち

1年間の学習成果を発表！

第35回公民館まつり

3月5～6日の2日間、「第35回公民館まつり」を中央公民館で開催しました。今回のまつりには、発表の部に24団体、展示の部に24団体が参加。歌や踊り、楽器演奏などのステージ発表、書道や手芸品などの展示など、生涯学習に取り組む人たちが、1年間の学習の成果を発表しました。5日には、白石高校文化部の皆さんによる芸術発表会や、NHK大河ドラマの時代考証や歴史番組のコメントーターを務める静岡大学名誉教授の^{おのだつ}小和田哲男^あさんによる講演会を開催。会場を訪れた人たちはさまざまな文化に触れ、楽しい時間を過ごしていました。



▲1年間の練習の成果を発表する童謡講座の受講生たち